

震災から15年 被災地は今

写真で見る被災地の復興



神戸市灘区深江本町で約600mにわたって壊壊しになった阪神高速道路神戸線。1年8か月後の1996年9月に全線開通した



神戸港中突堤では岸壁の内側が陥没し、海水が流入した。修復後は、ウォーターフロントの顔として市民に親しまれている



震災発生当日の1月17日、夜空を赤く染める炎は兵庫、長田区の住宅密集地を焼き尽くした。神戸市中央区のピーナズブリッジから



JR三ノ宮駅前にあった神戸新聞会館は取り壊しに。跡地には2006年10月、ファッション、飲食、シネマ等の複合ビル、ミント神戸が誕生した



学ぶ

- ▶震災15年展「神戸新聞カメラマンの証言」
- ▶「D-file ひょうご防災新聞 Disaster file」の展示
- ▶当時を証言する「物」やパネルなどの展示
- ▶震災直後の市民の様子やボランティアなどの展示
- ▶震災関連書籍の展示・閲覧

伝える

感謝や決意のメッセージ、子どもたちに送るメッセージなどを来場者から募集し、集木のクヌギを植えた展示物に張り付けて紹介

守る・備える

- ▶AEDを使用した救命救急処置体験
- ▶備蓄食品を使用した調理法の紹介

震災15年 未来に伝えたい

～安全・安心に暮らすために～

震災15年という節目に今一度、震災を見つめ直し、防災・減災の視点から学んだこと、伝えたいことを次代に継承していくことは、わたしたちの使命です。より安全で安心な暮らしを目指して、本展では、「伝える」をメインキーワードに、「学ぶ」「防ぐ」「守る・備える」などのコーナーで多彩な情報を発信します。

日時 1月15日(金) 13時～17時
16日(土)、17日(日) 10時～17時
会場 デュオドーム (JR神戸駅浜側)

防ぐ

- ▶プロから見た家のチェック方法と改修方法の紹介、産費診断受付コーナー
- ▶防災の取り組みやボランティア活動の紹介
- ▶ファミリー向けコーナー(カワダのダイヤブロックで遊ぶ)

ステージイベント

- ▶16日・17日 AEDを使用した救命救急処置講習、備蓄食品を使った料理の紹介
 - ▶17日 県立舞子高校環境防災科の活動紹介
- 会場では、震災当時の映像、なつかしの神戸の映像をモニターで紹介します

新聞パネル展 1995年1月17日～ 神戸新聞が 伝えたこと

日時 1月16日(土)、17日(日)
11時～20時
会場 フレッツ@メディアスタジオ
(ミント神戸6階メディアフロア)

神戸新聞社は震災で大きな被害を受けたものの、多くの方の力を借りて新聞発行を続けました。当時の記者たちは、苦しみ悲しむ被災者を前に葛藤しながらも、「記録して伝えていくことに意義がある」と信じてレンズを向け、ペンを走らせた。それらの写真や記事、社屋があった場所から発信します。

問い合わせ 078-251-7502 (後援班中)
050-3757-4227 (土日祝日)